

令和4年5月12日

保護者様

津市立みさとの丘学園
校長 長井 孝子

雷発生時（雷注意報発令時）や、台風を伴わない大雨警報、大雨・大雪注意報発令時等、大雨や大雪の危険が心配されるときの子供生徒の登下校について【補足】

薫風の候、保護者の皆様には益々ご健勝のことと存じます。平素は、本校教育について、多大なご理解とご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

台風を伴わない大雨警報等や、大雨注意報等が発令されている場合の登下校については、本日付の文書「暴風・大雨・洪水等による警報・特別警報発令等及び地震情報時における児童・生徒の登下校について」の2で連絡をさせていただいているところですが、下記のように補足連絡させていただきますのでご確認ください。

また、登校や登校方法の判断は、スクールバスの運行を変更することの難しさや、地域によって状況が違うこと等から、保護者の方にさせていただくこととなりますので、ご理解ください。

記

台風接近に伴わない大雨警報・洪水警報、または注意報発令時、雷発生時（雷注意報発令時）は、授業を実施することを基本とします。

ただし、

1. 登校前

登校、及び、バス停まで徒歩で行くことやバス停で待っていることが危険と保護者の方が判断された場合は、登校を見合わせるか、あるいは、学校まで車でお送りください。その際、以下の点にご注意ください。

(1) 日本中で落雷に遭う人は年間に 15 人程度ですが、落雷に遭ったときの被害が大きく、15 人中 3 人程度が死に至っています。そのため、雷が実際に発生しているときに、児童生徒が徒歩や自転車で登校することはとても心配されることです。遠くの方で雷鳴が聞こえたり、光ってから雷鳴が聞こえるまでの時間差がかなりあったりしたとしても、落雷に遭う危険があります。雷発生時、徒歩通学者や、バス停まで歩く距離の長い児童生徒は、登校を見合わせるか、あるいは、学校やバス停まで車でお送りください。

(2) 登校を見合わせた場合、安全が確認できたら登校させてください。その場合、通学団やバスでの登校はできなくなります。（スクールバスは、見出しの状況下では、定時に運行します。）児童生徒が各自で登校することが難しい場合は、学校まで車等でお送りください。

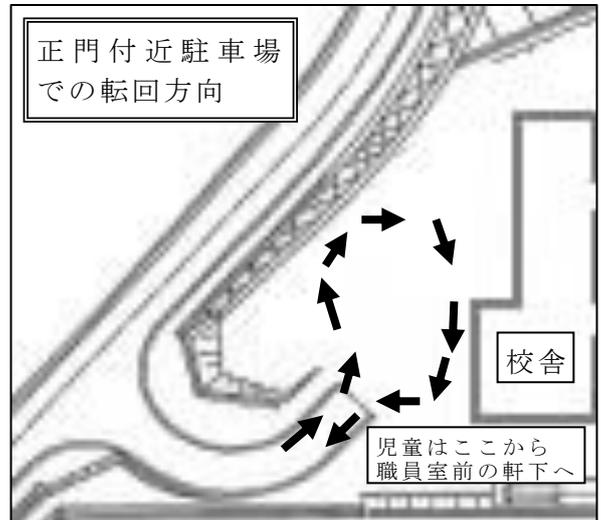
※雷発生時の安全の目安は、雷鳴が止んでから 20 分程度経過してからです。

(3) 登校を見合わせるか、あるいは、学校まで車でお送りくださる場合は、前期課程の徒歩通学団の児童は団長に、バス通学の児童生徒はバス停の班長にお知らせください。

(4) 8:20の始業時間に間に合わない場合は、学校にもご連絡ください。

(5) 雷が発生しているときや、大雨で危険だと保護者が判断された場合に学校まで車でお送りくださる場合は、正門から校舎近くまで車を入れていただいて結構です。ただし、バスが正門から入退車する7:55~8:05 くらいの時間帯は避けてください。

※大雪の場合は、校門までの坂道等スリップ事故が心配されますので、入退車はご遠慮ください。



(6) 見守り隊の方は、ボランティアで付き添い登校等をしていただいています。特に実際に雷が発生しているときは、見守り隊の方も自分の身の安全を図る必要がありますので、付き添い登校をしていただけないものとお考えください。

2. 下校前

下校が危険と学校が判断した場合は、安全が確認できるまで校内に待機させます。

また、雷の発生が遅い時刻や長時間に及ぶ場合は、状況を見て引き渡しをお願いする場合があります。

それらの際は、「まち comi メール」、及び、加入されていない場合は電話で連絡します。

雷から身を守る方法

(1) 建物の中や車の中に避難します。

※グランドなど周りに何も開けたところは特に危険です。

(2) 木や電柱から4メートル以上離れます。木の幹や電柱を通して雷にうたれることがあります。

ただし、右の図の保護範囲は比較的安全です。

(3) 雷は高いところに落ちます。近くに避難する場所がないときは、できるだけ姿勢を低くします。

傘をさすことの危険については諸説ありますが気象庁のホームページでは、「持ち物は、体より高く突き出さないようにする。」と注意を促しています。

